

2021年3月26日

## 2021年度事業計画(保育事業部)

部長 瀬尾 季子

### ○ 保育理念(事業部使命)

身近な大人との愛着関係を基盤に、受容性から好奇心・探求心へ、さらに主体性を持って成長する子を育みます。

### ○ 保育方針

保育園に集うたくさんのお親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園は、「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

### ○ 保育目標

和と輪と話を実践する子ども

### ○ 2019ー2021 保育事業部3ヶ年ビジョン

ひまわりの遊びこそが教育「サンフラワーメソッド」の確立で、ひまわりのファンを増やす

### ○ 2021保育事業部戦略

・2020年度は保育環境の整備、労働環境の整備に重点を置き、職員にとって安心して働ける土台作りを行ってきました。行動基準やマニュアルを作成し活用して振り返りを行うことで、現場に即すものになり職員各人が自主的に業務を遂行する状態になったと感じます。2021年度はこれらの活動を踏まえ、「自主性」から「主体性」に変化するような活動を取り入れて参ります。例えば、保護者や地域の方々に対して保育をPRする、職員研修で日々の保育をアウトプットする機会を設けるなど、職員各人が自信と誇りをもって保育をしている状態を目指していきたいと思えます。子どもを主体とするひまわりの保育は、職員の主体性があってこそ展開ができます。与えられたことを熟すのではなく、自分で考え行動する職員であってほしいと思えます。

・保育士不足が続いている中、採用担当と連携をとりながら全園の職員配置充足を目指しています。また、新規だけではなく上記の取り組みを通して既存職員の帰属意識を高めていくことで定着率アップにもつながると考えています。新規採用と定着率アップの2つを掲げ、より良い保育サービスが提供できるよう、事業部全体の職員配置を安定させていきたいと思えます。

社会福祉法人ひまわり福祉会 2021年度事業計画書

ひまわりキッズガーデン大原

はじめに

2020年度は子どもを観察し、心情を読み取り保育を深めるという視点で実行計画に取り組んで参りました。昨年度までに培った振り返りと思考力を基に話し合いを進め、保育環境の改善に努めました。また、新型コロナウイルスの影響で、“今まで通り”“当たり前”であった事ができない状況となり、職員間で連携を取りながら、今できる事を考え取り組んできました。年度途中での退職者が出た事で厳しい職員体制が続き、思うようには進まず大きな成果を上げるには至っておりませんが、職員の方向性や取り組み理解は進んでいます。

2021年度は園長・主任の交代があり、体制が変わります。今までに培ってきたチーム力を基盤に、チーム作りから始める1年となります。チーム作りを進めながら、昨年度の子どもの見る視点に加え、少人数の園として年齢や育ちを重視しながら、どのように環境を作り、子どもの主体性を育てていくかをチーム皆で話し合いながら、保育を進めたいと考えております。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
もも組	0歳	2	6	
たんぽぽ組	1歳	2	6	
ちゅうりっぷ組	2歳	1	6	
すみれ組	3歳	1	6	
ゆり組	4歳	1	6	要支援児1名
ひまわり組	5歳	1	6	要支援児2名

② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
25	23	26	25	25	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	24	24	23	22	26	

③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組めます。

- i. 日常養護・健康管理
  - ・ 保育士、看護師による視診
  - ・ 午睡後の検温、午睡後の巡回、睡眠中の観察(睡眠チェック)
- ii. 病気の予防と早期発見
  - ・ 日常の手洗い、うがいを励行
  - ・ 電解水とアルコール使用し、玄関での手指消毒を行う
  - ・ 感染症発生時には掲示にて注意を促す。
- iii. 安全と事故防止
  - ・ 不審者対応として学校110番の設置
  - ・ 玄関ドアは常に施錠しモニターで確認、オートロック開閉
  - ・ 家具などに転倒防止具を取り付け、角部分には保護ガードを貼る
  - ・ SIDS予防(睡眠表による睡眠チェックを行う)
    - 0歳児5分おき、1～2歳児 10分おき、3～5歳児 15分おきに個別確認
  - ・ 監視モニターを設置し午睡等の安全強化を図る
- iv. 健康増進と保健指導
  - ・ ほけんだよりにて健康情報や流行している感染症などについて発信する。
  - ・ 手洗い、うがい、鼻のかみ方の指導
  - ・ 0歳児は月に2回、1歳以上は月1回の身体測定を行い子どもの発育及び発達状態を定期的に把握する。
- v. 環境衛生
  - ・ 保育室の室温、湿度、換気、採光、騒音などの環境に配慮する。
  - ・ 園舎内は電解水を用いて清掃
  - ・ 1歳以上はコットベッド、0歳児用午睡布団は丸洗いをを行う(年1回)
  - ・ 害虫駆除(年2回)
  - ・ 0歳児は毎日2回、1歳児以上は週1回遊具消毒を行なう。
  - ・ トイレクリーニングの実施(年1回)

年間保健行事

保健行事	対 象 年 齢
内科健診	0歳児(月1回)、1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	実施なし
眼科健診	実施なし
ぎょう虫検査	実施なし
視力検査	実施なし
歯科健診	全園児(年2回)
尿検査	実施なし

## (2) 保育理念

身近な大人との愛着関係を基盤に、「受容性」から「好奇心・探究心」へさらに主体性を持って成長する子を育みます。

受容性:人から受容される経験を通して、相手を受容ようになる

好奇心・探究心:さまざまなことへの興味関心が高まる

主体性:自ら考えて行動するようになる

## (3) 保育方針

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一人として様々な人々とともに暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「見る」「聞く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場を作ります。

## (4) 各組の保育目標

### ひまわり組(5歳児)

- ・一つの目的意識のもとに関係し合い、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し、達成感や喜びを味わう。
- ・身体や栄養、病気などに関心をもち、健康や安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に行動する。
- ・体験したことや自分の思いを相手に分るように筋道立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる。
- ・運動や遊具・用具を使用した活動を通し、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調節しようとする。

### ゆり組(4歳児)

- ・十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする。
- ・できることに喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける。
- ・人の話に興味を持って聞いたり自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題にあわせて意識して身体を動かすようになる。

### すみれ組(3歳児)

- ・自己主張しながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする。

- ・生活や遊びの中に期待や見通しを持ち、自分のことは自分でしようとする。
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地良さを味わう。
- ・生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する。

#### ちゅうりっぷ組(2歳児)

- ・自己主張を十分に受け入れてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる。
- ・大人に見守られながら意欲的に自分のことは自分でしようとする。
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地良さを味わう。
- ・生活や遊びの中で、体を動かすことを十分に楽しむ。

#### たんぼぼ組(1歳児)

- ・保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む。
- ・生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基礎となる力を育む。

#### もも組(0歳児)

- ・安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む。
- ・安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む。

#### (5) 主な年間行事予定

月例行事	誕生日会、避難訓練、身体測定
4月	入園・進級お祝い会、保護者会
5月	こどもの日の集い、(給食試食会)、田植え遠足(4・5歳児)
6月	農業体験(5歳児)、個別面談
7月	七夕会、一日特別保育(5歳児)
8月	プール
9月	引き渡し訓練、敬老お祝い会、自然体験、保護者会
10月	合同運動会(予定)、芋掘り遠足(4・5歳児)
11月	個別面談(全園児)
12月	お遊戯会、クリスマス会、もちつき会
1月	お店屋さんごっこ、5歳児個別面談
2月	節分会、ひまわり食堂、保護者会(0～4歳児)
3月	ひなまつり会、お別れ遠足、保護者会(5歳児)、お別れ会、卒園式

(6) 食事

i. 目標

「丈夫な体、豊かな心を育む食経験を通して、自らの健康を育める子ども」  
食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体作りをするとともに、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

献立会議に参加し、栄養摂取量表を確認する。  
(献立会議月1回、食育会議月1回、離乳食・アレルギー食の打合わせは随時)

iii. 食育

食育は毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみあう子どもたちに成長していくことを期待するものである。  
そのために乳幼児には食域を広げ、子どもたちの食への興味を引き出すことを食育の目的とし「毎日食育」をベースに、企画する食育活動を加えて展開していく。

iv. 衛生管理

日々日常点検表と業務完了届けを通して実施状況を確認。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	475	17.8	15.8	213	2.3	188	0.25	0.28	20
3歳以上児	520	19.5	17.3	230	2.2	190	0.28	0.32	20

vi. その他

初期食 4食、中期食1食、後期食1食  
アレルギー児 1名

(7) 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

交通安全教育 年1回 日付は未定

非常災害時の避難訓練 (毎月1回)

引き渡し訓練 (9月1日)

(8) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
副園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	5名	
調理員(栄養士含)	2名	(業務委託)
看護師	1名	
用務員	0名	
嘱託医	1名	(非常勤)
非正規職員	8名	

② 健康管理

健康診断 年1回(5月～2月)

細菌検査 年12回

\* 給食担当は24回

③ 職員会議

職員会議 年12回 乳児会議年12回 幼児会議年12回

非正規職員会議 年12回

④ 研修計画

- ・ 職員個別に研修計画を策定年間につけたい力)
- ・ 行政主催の研修会への参加(年間計画に基づき個々に必要なスキルを身につける)
- ・ 保育団体主催の研修会への参加
- ・ 法人、事業部等主催の研修会への参加
- ・ 園内研修

2. 施設管理

(1) 事務関係

① 会計事務、管理事務

- ・ 施設における現金の管理は経理規定に従って行う。
- ・ 現金収支は小口現金出納帳にて行う。

② 児童処遇事務(保育、給食、保健)

- ・ 毎月の収支は資金収支予算実績報告書をもとに管理する。

- ・ 延長保育料金等については毎月末締めとし翌月はじめに請求書を発行し徴収、領収書を発行し管理を行う。
- ・ 給食に関しては委託業者との契約を行い毎月の支払いとする。
- ・ 嘱託医への支払いは契約書をもとに行う。

## (2) 設備関係

- ① 固定遊具の設備点検  
固定遊具なし  
トイレクリーニングの実施
- ② 修繕予定  
暖房器具の経年劣化による交換

## (3) 備品関係

- ① 備品購入予定  
絵本棚、園児用椅子(0、1歳児用12脚)
- ② 保育用品購入予定  
絵本、玩具、運動用品、保育材料等
- ③ 給食用品購入予定  
食具、調理器具等、厨房機器の保守点検
- ④ 固定資産物品購入予定  
特になし

## (4) 災害対策

- ① 避難訓練  
年間12回実施(内1回は保護者参加の引渡し訓練)
- ② 防災設備の点検委託  
年間2回実施
- ③ 非常食糧の備蓄  
(全児童+全職員数)×3食×3日分  
備蓄品の点検と追加購入  
消費期限点検



### 3. 保護者へむけて

#### 保育への理解と協力の促進

- ① 保育士体験(期間を設けているが、基本的には随時)  
1日保育士体験を行なう。集団の中での子どもの様子を知り、保育内容への理解を深めてもらう機会とする。
- ② 保護者会、個別面談  
保護者懇談会(年3回程度実施)・・・園の保育の理解、子どもの姿、発達を知る。  
個別面談の実施(年2回程度)・・・園での子どもの様子、家庭での様子、子育て観の共有
- ③ 通信(お便り)  
園だより(月1回)・・・園全体や地域に関わる情報などを発信する  
クラスだより(月1回)・・・学年毎の発達、育児情報、お知らせ、お願いなどを発信する  
ほげんだより(月1回)・・・保健に関する情報を発信する  
給食だより(月1回)・・・乳幼児期の食生活について園と家庭の架け橋となる内容を発信する  
※上記おたよりやお知らせ等があった場合、教育施設向けICT支援ツール【コドモン】を使用して、連絡を行なう。

### 4. 地域社会との連携

- ・ 町会への加入
- ・ 近隣小学校との交流(今後の感染症の状況により実施)
- ・ 小学校の先生をお招きしての育児講座(今後の感染症の状況により実施)
- ・ 高齢者施設への月1回の訪問(今後の感染症の状況により実施)

### 5. その他

- ・ 第三者評価の受審

社会福祉法人ひまわり福祉会 2021年度年度事業計画書

ひまわりキッズガーデン小茂根

はじめに

2020年度は、行動基準をもとに保育の振り返りを行いながら、子どもたちにとっての安全安心な環境、年齢に合った保育環境作りに取り組んできました。中堅層職員が半数を占めるチーム構成で、パートナー制度が機能し、一般層職員、パート職員の役割意識や満足度が向上しました。また、「観察シート」や動画を活用した園内研修の継続で、子どもの心情の理解が深まり、職員全体の保育記録の内容が変化しています。コロナ禍にあり、保護者参加の行事が中止になる中で、これまでの行事のあり方を見直し、職員達から様々な保育活動の提案がされ、そうめん流しごっこ、運動会ごっこ、作品展(水族館ごっこ)等が子どもたち主導で進められました。動画を配信すると、保護者からは子どもたちの楽しそうな表情や友だちと一緒に取り組む姿に多くの反響がありました。第三者評価では、「子ども自身の考えを引き出すために心情に焦点を当てた保育活動と保育環境を子ども主体で職員が考えて工夫改善している」「試行錯誤しながらより良いものを提供しようとする実践力が素晴らしい」との講評を頂きました。2021年度は今年度の経験を土台に、園の取り組みの内容やねらい等、「小茂根の保育」を保護者に発信する機会を増やし、「小茂根で良かった」と言ったださる保護者を増やしたいと思います。同様に地域への発信力も上げて、第一希望での入園が増えるよう努めて参りたいと思います

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
にじ	0歳	2	6	
ほし	1歳	2	7	
そら	2歳	2	6	1名空き(3/12現在)
もり	3歳	1	13	要支援児1名 2名空き(3/12現在)
うみ	4歳	1	13	2名空き(3/12現在)
たいよう	5歳	1	15	

② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
25	23	26	25	25	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	24	24	23	22	26	

### ③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- i. 日常養護・健康管理
  - ・ 健康管理カード(コドモンでのウェブ管理)をもとに個々の健康観察と管理
  - ・ 看護師による日々の巡回と子どもの視診を定期的に行い健康状況の把握を行う。
- ii. 病気の予防と早期発見
  - ・ 園の玄関前に電解水を置き、来訪者には必ず除菌・消毒行っていただき、体温を測定したうえで入室頂く。
  - ・ 感染症が発症した際には、掲示等で保護者へ知らせ注意を促す。
- iii. 安全と事故防止
  - ・ 学校110番の設置。
  - ・ 家具等は転倒防止具をつける。柱、角の部分には保護ガードをつける。
  - ・ 事故防止マニュアルを確認し、安全策を図る。
  - ・ ヒヤリハット・メッセージグレードを全職員が把握。分析を行い再発防止に努める。
  - ・ SIDSの防止(午睡時睡眠チェック 0歳児5分毎、1, 2歳児10分毎、3歳児以上15分毎)
  - ・ 監視モニターを設置し、午睡等の安全対策を強化する。
- iv. 健康増進と保健指導
  - ・ 保健だよりを毎月発行し、健康情報や保健指導を行う。
- v. 環境衛生
  - ・ 害虫駆除は年に2回業者へ委託。
  - ・ 午睡用布団の丸洗い、乾燥を定期的に行う。
  - ・ 玩具消毒を電解水で行う。(感染流行期においてはアルコール使用))
  - ・ 感染流行期には電解水またはアルコールを用いて室内清掃を行う。
  - ・ 業者によるトイレクリーニングを年1回実施する。

#### 年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	0歳児(月1回)・1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	
眼科健診	
視力検査	
歯科健診	全園児年2回
尿検査	

## (2) 保育理念

身近な大人との愛着関係を基盤に「受容性」から「好奇心・探求心」へさらに「主体性」を持って成長する子を育みます。

## (3) 保育方針

保育園に集うたくさんのお親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくりまします。

## (4) 各組の保育目標

### たいよう組(5歳児)

- ・ 一つの目的意識のもとに関係し合い、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し、達成感や喜びを味わう。
- ・ 身体や栄養、病気などに関心を持ち、健康や安全など生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身につけ見通しを持って主体的に行動する。
- ・ 体験したことや自分の思いを相手に分るように筋道立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる。
- ・ 運動や遊具・用具を使用した活動を通し、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整しようとする。

### うみ組(4歳児)

- ・ 十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする。
- ・ できることに喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける。
- ・ 人の話に興味を持って聞いたり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・ 様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようになる。

### もり組(3歳児)

- ・ 自己主張をしながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする。
- ・ 生活や遊びの中に期待や見通しを持ち、自分のことは自分でしようとする。
- ・ 身近な大人や友達集団とともに体験を共有し、言葉を交わす心地良さを味わう。

- 生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する。

#### そら組(2歳児)

- 自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる。
- 大人に見守られながら意欲的に自分のことは自分でしようとする。
- 身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地良さを味わう。
- 生活や遊びの中で、身体を動かすことを十分に楽しむ。

#### ほし組(1歳児)

- 保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む。
- 生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基礎となる力を育む。

#### にじ組(0歳児)

- 安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む。
- 安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む。

#### (5) 年間行事予定

月例行事	誕生を祝う会
4月	入園・進級お祝い会・子どもの日の集い
5月	田植え遠足・保護者会
6月	個別面談(全園児)
7月	七夕・農業体験(5歳児)・一日特別保育(5歳児)
8月	プール・卒園児交流
9月	引渡し訓練・自然体験(4, 5歳児)・祖父母交流会・保護者会
10月	さつま芋掘り(4, 5歳児)
11月	運動会・個別面談(0～4歳)
12月	クリスマス会・餅つき会
1月	個別面談(5歳)・おゆうぎ会
2月	節分・保護者会(0～4歳)
3月	ひなまつり・お別れ遠足・お別れ会・卒園式・5歳保護者会

(6) 食事

i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食経験をを通して、自らの健康を育める子ども」  
食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体作りをすると共に、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

献立会議に参加すること、及び栄養摂取量表で確認する。

iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していくことを期待するものです。  
そのために乳幼児期は食域を広げ、子ども達の食への興味を引き出すことを食育の目的とし毎日食育をベースに、企画する食育活動を加えて展開します。

iv. 衛生管理

日々、日常点検表と業務完了届を通して実施状況を確認。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	475	17.8	15.8	213	2.3	188	0.25	0.28	20
3歳以上児	520	19.5	17.3	230	2.2	190	0.28	0.32	20

vi. その他

離乳食:初期食0名 中期食 1名 後期食 4名 完了食 1名  
アレルギー対応児: 1名(鶏卵・乳・小麦)  
1名(鶏卵・乳・小麦・魚卵・甲殻類)  
1名(ゴマ)

(7) 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

交通安全教育 (4月・9月・3月)

非常災害時の避難訓練 (月1回)

引き渡し訓練 (9月1日)

不審者対応訓練 (年2回)

## (7)職員の処遇

### ① 職員構成

園長	1名	
副園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	7名	
調理員(栄養士含)	4名	委託
看護師	1名	(非常勤)
用務員	0名	
嘱託医	1名	(非常勤)
非正規職員	7名	(全員有資格者)

### ② 健康管理

健康診断 年2回(6月・12月)

歯科検診 年2回(6月・12月)

細菌検査 年12回

\* 給食、24回

### ③ 職員会議

・ 職員会議:12回

・ 乳児会議:12回

・ 幼児会議:12回

### ④ 研修計画

・ 個別に研修計画を策定(年間でつきたい力)

・ 行政主催の研修へ参加(年間計画に基づき個々に必要なスキルを身につける)

・ 保育団体主催の研修へ参加

・ 法人、事業部等主催の研修への参加

・ 園内研修

## 2. 施設管理

### (1) 事務関係

#### ① 会計事務、管理事務

・ 施設における現金の管理は経理規定に従って行う。

- ・ 現金収支は小口現金出納帳をもとに管理を行う。

② 児童処遇事務(保育、給食、保健)

- ・ 毎月の収支は資金収支予算実績報告をもとに管理を行う。
- ・ 延長保育料金等については、毎月末日締めとし翌月初めに請求書を発行し口座より引き落とす。
- ・ 給食に関しては、委託業者との契約を行い毎月の支払いとする。
- ・ 嘱託医への支払いは契約書をもとに行う。

(2) 設備関係

特になし

(3) 備品関係

① 備品購入予定

- ・ 特になし

② 保育用品購入

- ・ 園児用テーブル、椅子
- ・ 絵本・玩具・運動用品・保育教材等

③ 給食用品購入予定

- ・ 食器・調理器具等

④ 固定資産物品購入予定

- ・ 特になし

(4) 災害対策

① 避難訓練

- ・ 年間12回実施。(年1回保護者への引き渡し訓練実施)

② 防災設備の点検委託

- ・ 防火設備点検:年間2回実施(9月・3月)
- ・ 消防設備点検:年間1回実施(未定)

③ 非常食糧の備蓄

(全児童+全職員数)×3食×3日分  
消費期限点検(4月・9月実施)



### 3. 保護者へむけて

#### 保育への理解と協力の促進

##### ① 保育参加

- ・ 子ども達が園でどの様に過ごしているのか、また、クラスでの様子(友達や保育士との関わり等)などを知ってもらうことや、保育の準備や片付け等保育士の仕事を体験してもらうことで、保育園への理解を深める為に保育参加への呼びかけを行っている。
- ・ 年2回(6月・11月)保育月間を設けたが、基本的には随時参加可能である。

##### ② 保護者会

- ・ クラスの保護者会は年に3回開催。
- ・ クラスごとに行う。1年間の保育目標を伝え、子どもの発達の見通しを持ってもらう。アンケートや連絡帳から保護者が“今子育てで悩んでいる事”や“聴きたい内容”を分析し、テーマを決め開催する。また、開始時間についても参加しやすい時間帯を考慮して二部制にして行なう。

##### ③ 通信(お便り)

- ・ 月1回:園だより・クラスだより・保健だより・給食だよりを発行(コドモン配信)  
その他、行事毎におたよりを発行。

### 4. 地域社会との連携

- ・ 町会への加入。
- ・ 小学校やあいキッズ(放課後事業)との交流。
- ・ 高齢者施設への訪問、交流。
- ・ 近隣保育園との交流。特にひまわりベビールーム小竹向原との交流や合同行事の開催
- ・ 要保護児童対策地域協議会への出席

### 5. その他

- ・ 第三者評価を受診

社会福祉法人ひまわり福祉会 2021年度事業計画書

ひまわりキッズガーデン東雲

はじめに

2020年度は園長交代や数名の保育士の異動に伴い、新しいチーム作りの一年となりました。園長と主任が保育と業務の根拠と方向性を示したことで、職員が“めざしているひまわりの保育”を理解してチームに参画するようになってきています。2021年度は主任が交代となりますが、G3職員にリーダーシップを発揮してもらいながら、今のチーム状態を維持できるようにしたいと思います。

子どもの心情・発達を理解して環境構成や大人の関わりを考えていく保育を実践していくために、2021年度は保育環境について考える研修を取り入れます。外部・事業部・園内研修での学びを連動させて、各年齢にあった保育の内容と、年齢ごとの繋がりを踏まえた指導計画の実践に取り組みます。それによって、ひまわりの保育のめざす「受容性から好奇心・探求心から主体性を持って成長する子ども」が生まれ、さらに、その姿を保護者に伝えていくことにも力を入れていくことを考えています。また、今年度はコロナ禍により育児講座や保育所体験が思うように出来ませんでした。戸外活動やWEBを活用しての子育て支援に取り組み、地域の中での存在感を高めていけるようにしてまいります。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
月組	0歳	3名	9名	
星組	1歳	3名	12名	
空組	2歳	3名	14名	空き1名
波組	3歳	1名	18名	空き2名
虹組	4歳	1名	20名	
光組	5歳	1名	18名	空き3名 ダウン症児1名

② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
25	23	26	25	25	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	24	24	23	22	26	

### ③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

#### i. 日常養護・健康管理

- ・登園時0歳児は園内で検温し、その日の健康状態を保護者保育士双方で確認し、お預かりする。1～5歳児は、登園時に健康状態を保護者に確認する。
- ・前日夜から当日の朝までのご家庭での様子は、連絡帳を通して家庭より引き継ぎをする。(0歳～2歳児は園での様子も連絡帳に記載)

#### ii. 病気の予防と早期発見

- ・感染症予防は手洗い・うがいが基本ととらえ、子ども達にも指導を行う。登園時には玄関入り口でアルカリ・酸性水にて手指消毒する。
- ・保護者・外部からの来訪者ともに、園内に入る際には玄関入り口でアルコール手指消毒をしていただく。
- ・感染症が発生した際には、保護者に掲示し感染防止に協力をお願いする。
- ・SIDSの予防の周知、睡眠チェックの徹底  
(0歳児:5分毎、1～2歳児:10分毎、3歳児～:15分毎)

#### iii. 安全と事故防止

- ・学校110番の設置。
- ・玄関ドアはモニターで確認しオートロック開閉。
- ・家具等の転倒防止対策。
- ・安全委員会を中心に事故の防止に努める。ヒヤリハット、メッセージグレードを通して事例検討、再発防止を話し合い、対策を行なう。
- ・津波避難対策としてマンション上層階への避難経路確保。

#### iv. 健康増進と保健指導

- ・園医による歯磨き指導(年間1回)
- ・看護師による手洗い指導(年間2回、その他必要に応じて実施)
- ・年間で薄着を勧め、子ども達が自ら体温調節を行えるからだづくりを行う。

#### v. 環境衛生

- ・遊具が子どもの口に入る事を考慮し消毒は薬品を使用せず、1日2回、電解水(アルカリ水・酸性水)を使用して玩具消毒を行う。
- ・手洗い後はペーパータオルを使用。
- ・使用済みの紙オムツは、都度ビニール袋に入れて結び、蓋つきのゴミ箱の中で保管する。
- ・害虫駆除(年間2回)
- ・事業者による年1回のトイレクリーニング、エアコンクリーニングの実施。

## 年間保健行事

保健行事	対 象 年 齢
内科健診	0歳児(月1回)、1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	実施なし
眼科健診	実施なし
視力検査	4歳、5歳児(看護師による簡易検査を年2回)、視力スクリーニング検査(園医による)
歯科健診	年2回
尿検査	実施なし

### (2) 保育理念

身近な大人との愛着関係を基盤に「受容性」から「好奇心・探求心」へさらに「主体性」を持って成長する子を育みます。

### (3) 保育方針

保育園に集うたくさんのお親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

### (4) 各組の保育目標

#### 光組(5歳児)

- ・一つの目標意識のもとに関係しあい、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目標に向かって協力し、達成感や喜びを味わう
- ・身体や栄養・病気などに関心を持ち、健康や安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に活動する
- ・体験したことや自分の思いを相手に分かるように筋道を立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる。
- ・運動や遊具・用具を使用した活動を通して、自己の身体像を確立し、自分の身体隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整使用とする。

#### 虹組(4歳児)

- ・十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする
- ・できるように喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な生活習慣を身につける
- ・人の話に興味を持って話したり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう
- ・様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようになる

波組(3歳児)

- ・自己主張しながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする
- ・生活や遊びに期待や見通しを持ち、自分のことを自分でしようとする
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地よさを味わう
- ・生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する

空組(2歳児)

- ・自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを知る
- ・大人に見守られながら意欲的に自分のことを自分でしようとする
- ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地よさを味わう
- ・生活や遊びの中で、体を動かすことを十分に楽しむ

星組(1歳児)

- ・保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む
- ・生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基盤となる力を育む

月組(0歳児)

- ・安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む
- ・安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む

(5) 主な年間行事予定

月例行事	誕生日会、0歳児健診、避難消火訓練、保育参加
4月	入園式、保護者会
5月	こどもの日、個別面談
6月	防災引き渡し訓練、個別面談、水遊び開始
7月	七夕、1日特別保育(5歳児)、水遊び
8月	水遊び
9月	保護者会、親子稲刈り遠足(4・5歳児)、祖父母交流
10月	親子芋ほり遠足(3・4・5歳児)、
11月	個別面談(0～4歳児)
12月	お遊戯会、クリスマス、もちつき(鏡餅作り)
1月	個別面談(5歳児)
2月	節分、お別れ遠足(5歳児)
3月	ひな祭り、お別れ会、卒園式

(6) 食事

i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食経験をを通して、自らの健康を育める子ども」  
食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体作りをすると共に、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

食育会議に参加すること、及び栄養摂取量表で確認する。

iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べる事を楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していく事を期待するものです。そのために乳幼児期には食域を広げ、子ども達の食への興味を引き出す事を食育の目的とし、毎日食育をベースに、企画する食育活動を加えて展開します。

iv. 衛生管理

日々日常点検表と業務完了届を通して実施状況を確認する。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	475	17.8	15.8	213	2.3	188	0.25	0.28	20
3歳以上児	520	19.5	17.3	230	2.2	190	0.28	0.32	20

vi. その他

離乳食 初期1名 中期2名 後期6名  
アレルギー児対応 3名

(7) 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

交通安全教育 (年2回)

非常災害時の避難訓練 (毎月20日頃)

引き渡し訓練 (6月1日)

(8) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	9名	
調理員(栄養士含)	4名	給食業務委託
看護師	2名	
用務員	1名	
嘱託医	2名	(非常勤)
非正規職員	7名	(うち有資格者5名)

② 健康管理

健康診断 年1回(4月～2月に実施)

細菌検査 年12回

\*給食調理担当は、24回

③ 職員会議

- 職員会議(毎月月初に実施) …クラス・給食・看護・業務係からの報告連絡事項。主任・園長からの連絡事項。園内研修。
- 標準化会議(第3週目) …園運営に関して必要な情報の集約会議。考え方のばらつきを無くし、園における課題を認識し、意図に沿った業務・保育の見直し・検討・提案を行う。
- クラス会議(第3週) …各クラスの月案の振り返りと次月への課題の共有。行動基準の見直しと更新。
- 乳児会議・幼児会議(第4週目) …乳児・幼児全体の共通事項や情報の共有。ひまわりの考えかたに基づく保育を行なうために、発達や内容についての話し合いを行なう。
- 昼礼 …午前中の子どもや保護者に関する事項の遅番への引継ぎ。怪我・体調・延長利用者確認・メッセージグレードとヒヤリハットの共有・園長主任からの伝達事項。

④ 研修計画

職員個別に研修計画を策定

行政主催の研修参加

保育団体主催の研修参加

外部講師・事業部による保育環境研修

園内研修

## 2. 施設管理

### (1) 事務関係

#### ① 会計事務、管理事務

- ・施設における現金は経理規定に沿って管理を行う。
- ・現金収支は小口現金出納帳をもとに管理を行う。
- ・予算書・稟議書を作成、収支の把握と管理を行なう。

児童処遇事務(保育、給食、保健)

- ・毎月の収支は資金収支予算実績報告をもとに管理を行う。
- ・延長保育利用料金等については月末締め、翌月はじめに請求書を発行し、保育業務管理ソフト「コードモン」に登録された口座より引き落とし。
- ・給食に関しては委託事業者と契約を行い毎月の支払とする。
- ・嘱託医への支払いは契約書をもとに行う。

### (2) 設備関係

#### ① 固定遊具の設備点検

固定遊具特になし

施設整備点検は毎月行う

#### ② 修繕予定

園内有線ケーブル工事

### (3) 備品関係

#### ① 備品購入予定

特になし

#### ② 保育用品購入予定

絵本、玩具、保育教材等

#### ③ 給食用品購入予定

調理器具全般

食器こども用

#### ④ 固定資産物品購入予定

電話機交換、電子ピアノ

### (4) 災害対策

#### ① 避難訓練

年間12回実施（保護者参加の引き渡し訓練を1回実施）

津波対策としてマンション上層階への避難訓練

#### ② 防災設備の点検委託

株式会社建防メイセイへ委託

年2回 消防設備点検実施（毎年7月・1月）



年1回 特殊建築物定期検査実施 ※3年に1回、2020年度は実施なし

年1回 防火対象物点検(毎年10月頃)

年1回 建築設備定期検査実施(毎年1～2月)

年1回 防火設備点検(毎年6～翌年3月までの間)

③ 非常食糧の備蓄

(全児童+全職員数)×3食×3日分

消費期限点検(4月実施)

3. 保護者へむけて

保育への理解と協力の促進

- ① 保育参加…全園児の保護者を対象に一日保育参加を実施。子どもが園で過ごす1日を(保育時間)参加していただく。保育参加を通して、登園から降園までの子どもの様子や他児との関わり、保育士との関わり等を見ていただき、ひまわりの保育への理解や連携及び問題点の共有、子育ての相談等を行う最良の機会と捉える。
- ② 保護者会…全体の保護者会は4月と9月に、個別面談は6月と11月(0～4歳児)1月(5歳児)に実施。ひまわりの保育内容、子どもの姿・成長の発信を行なう。保護者の悩みや困りごとを把握し、子育ての協同に繋げる。
- ③ 通信(お便り)…園便り クラス便り(毎月発行)その他必要があれば不定期で発行。園便りは毎月の行事、園の保育方針を盛り込んだ園長のコラム、その他お願い等。クラス便りは、月の活動計画、各クラスの子どもの姿・保育者の関わり・成長を記載。  
…保健便り(毎月発行)流行しそうな子どもの感染症に関する情報や、こども達の生活(睡眠時間、虫歯、視力等)に関する情報を記載。園全体の感染症予防を啓蒙。  
…給食便り(毎月発行)ひまわりの食に関する考え方を掲載。その他郷土料理や人気のレシピなども公開。

4. 地域社会との連携

近隣の認可、認証、認定こども園や小学校、キャナルコート内の学童やデイサービス、店舗等と連携をはかり、地域での子育て支援の拠点になる。育児講座や保育所体験等を企画し、子育て親子が足を運ぶ機会を増やして育児支援を行なうとともに、ひまわりキッズガーデン東雲の存在と保育内容を知っていただく。

5. その他

- ・第三者評価受審予定

社会福祉法人ひまわり福祉会 2021年度事業計画書

ひまわりキッズガーデン豊洲

はじめに

豊洲の2019～2021の3か年ビジョン「誰からも信頼される豊洲を構築」に向けて2019年度は“子どものために”を考への基準に置き、チームや保護者との関係の再構築を行い、2020年度は職員が働きやすい環境づくりを園のルールや会議体の見直しを図り、日々の保育の中で適切なOJTを行ってきました。2021年度は園長・副園長という新たな体制に変更になる為、職員が迷わないように階層機能の明確化を行っていくと共に日々の保育の更なる充実を図り子どもの発達に合わせた環境設定等に取り組んでいきたいと思ひます。職員育成の面では、計画的に物事を進めていけるように目標管理シートを活用しながらスケジュール管理能力を高め、主体的に動ける職員を増やしていきたいと思ひます。

また、豊洲地域はオリンピック等での人口増加に伴い大規模マンション建設が進んでいるものの、地域のニーズとしては保育園を通年利用する方より困った時に預けられる一時保育のニーズが高まりつつあります。5月からの一時保育の再開を通して地域の子育て世代を支援し、信頼される園となれるようにひまわりの保育の良さを地域に発信し、更なる関係を構築していきたいと思ひます。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

(1) クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
つき組	0歳	2名	4名	空き2名
ほし組	1歳	3名	13名	
そら組	2歳	3名	18名	
なみ組	3歳	2名	17名	要支援児1名 空き1名
にじ組	4歳	2名	18名	
ひかり組	5歳	2名	18名	要支援児1名

(2) 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293 日
25	23	26	25	25	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	24	24	23	22	26	

### (3) 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

#### i. 日常養護・健康管理

- ・連絡帳や朝の視診、保護者からの情報をもとに子どもの状態を観察
- ・登園時0歳児は園内で検温し、その日の健康状態を保護者保育士双方で確認しお預かりする。
- ・0歳児は月に2回、1歳以上は月1回の身体測定を行い子どもの発育及び発達状態を定期的に把握していく。

#### ii. 病気の予防と早期発見

- ・保育中に体調不良や怪我等が発生した場合には、その子どもの状態に応じて早期に保護者に連絡を行う。
- ・嘱託医をはじめ、医療関係機関や保健所との連携を必要に応じて行う
- ・朝や午睡明けの看護師による巡回
- ・睡眠表による睡眠チェックを行う  
(0歳児5分おき、1～2歳児 10分おき、3～5歳児 15分おきに個別確認)

#### iii. 安全と事故防止

- ・家具は転倒防止器具を付ける。また、階段には折り返し先が見えるよう、2階と3階のおどり場には鏡をとりつけている。
- ・不審者対応として学校110番を設置
- ・監視モニターを設置し、午睡等の安全対策を強化する

#### iv. 健康増進と保健指導

- ・0歳児は月に2回、満1歳以上は月に1回身長、体重測定を行うと共に、定期的に健康診断を行い保護者連絡ツールアプリにて保護者に連絡し、保護者が子どもの状態を理解し、日常生活に活用できるようにする。
- ・手洗い、うがい、トイレの使い方、歯の磨き方指導を行う

#### v. 環境衛生

- ・新型コロナウイルスを機に玄関前にアルコール消毒液を設置し、保護者は入室前に手指消毒を行う。また、子ども達は小さな子どもが口にする可能性も考え、アルカリ・酸性水で玩具等の洗浄を行っている。
- ・毎年、専門業者によるトイレクリーニングを行なっている。
- ・手洗いはペーパータオルを使用
- ・害虫駆除(年間2回)

## 年間保健行事

保健行事	対 象 年 齢
内科健診	0歳児(月1回)、1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	実施なし
眼科健診	実施なし
視力測定	4歳児・5歳児(看護師による簡易検査を年2回)
歯科健診	全園児 (年2回)
尿検査	実施なし

### (2) 保育理念

身近な大人との愛着関係を基盤に「受容性」から「好奇心・探求心」へさらに「主体性」を持って成長する子を育みます。

### (3) 保育指針

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

### (4) 各組の保育目標

ひかり組(5歳児)・一つの目的意識のもとに関係し合い、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し、達成感や喜びを味わう。

- ・身体や栄養、病気などに関心を持ち、健康や安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に行動する。
- ・体験したことや自分の思いを相手に分るように筋道立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる。
- ・運動や遊具・用具を使用した活動を通し、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整しようとする。

にじ組(4歳児)・十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする。

- ・できることに喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける。
- ・人の話に興味を持って聞いたり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようになる。

- なみ組(3歳児) ・自己主張をしながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする。  
 ・生活や遊びの中に期待や見通しを持ち、自分のことは自分でしようとする。  
 ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地良さを味わう。  
 ・生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する。
- そら組(2歳児) ・自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる。  
 ・大人に見守られながら意欲的に自分のことは自分でしようとする。  
 ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地良さを味わう。  
 ・生活や遊びの中で、体を動かすことを十分に楽しむ。
- ほし組(1歳児) ・保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む。  
 ・生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基礎となる力を育む。
- つき組(0歳児) ・安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む。  
 ・安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む。

(5) 主な年間行事予定

月例行事	誕生日会・消火・避難訓練
4月	入園式・保護者会
5月	親子ふれあいデー
6月	個別面談(乳児・幼児)
7月	七夕・1日特別保育(5歳児)
8月	プール・水遊び
9月	稲刈り遠足(4・5歳親子)・引渡し訓練
10月	芋ほり遠足(3・4・5歳親子)・運動会
11月	保護者会・乳児発表会
12月	幼児発表会・クリスマス会・もちつき
1月	個別面談(5歳児)
2月	節分・遠足(5歳児)・個別面談(0～4歳児)
3月	雛祭り・おわかれ会・卒園式

(6) 食事

i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食経験を通して、自らの健康を育める子ども」  
食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体作りをすると共に、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

献立会議に参加すること、及び栄養摂取量表で確認する。

iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べる事を楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していく事を期待するものです。そのために乳幼児期には食域を広げ、子ども達の食への興味を引き出す事を食育の目的とし、毎日食育をベースに、企画する食育活動を加えて展開します。

iv. 衛生管理

日々日常点検表と業務完了届を通して実施状況を確認する。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	500	19.0	16.5	200	2.1	125	0.20	0.28	20
3歳以上児	562	21.7	19.9	218	2.1	252	0.34	0.35	37

vi. その他

初期( 0名)、中期( 0名)、後期( 3名)、完了( 0名)  
アレルギー児対応 ( 2名)

(7) 安全管理

非常災害時の避難訓練 (毎月1日)  
引き渡し訓練 (9月)

(8) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
副園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	12名	
調理員(栄養士含)	3名	業務委託
看護師	1名	
用務員	1名	業務委託
嘱託医	2名	非常勤
事務員	1名	
非正規職員	8名	

② 健康管理

健康診断 年1回(7月～10月)

細菌検査 年 12回

\*給食担当は、年24回

③ 職員会議

乳児会議(年12回)

幼児会議(年12回)

標準化会議(月1回)

職員リーダー会議(年12回)

全職員会議(年4回)

④ 研修計画

職員個別に研修計画を策定

行政や保育団体主催の研修に参加

法人、事業部等主催の研修への参加

園内研修

2. 施設管理

(1) 事務関係

① 会計事務、管理事務

- ・ 施設における現金の管理は経理規定に従って行なう。
- ・ 現金収支は小口現金出納帳をもとに管理を行なう。

② 児童処遇事務(保育、給食、保健)

- ・ 毎月の収支は資金収支予算実績報告をもとに管理を行なう
- ・ 延長保育料金等については毎月末締めとし翌月初めに請求書を発行し徴収、領収書を発行し管理を行なう。
- ・ 給食に関しては委託業者との契約を行い毎月の支払いとする。
- ・ 嘱託医への支払いは契約書をもとに行なう。

(2) 設備関係

① 固定遊具の設備点検

固定遊具特になし

② 修繕予定

- ・園庭整備(スターコート豊洲大規模改修により修繕予定)
- ・床修繕

(3) 備品関係

① 備品購入予定

一時保育用品(机等)

② 保育用品購入予定

- ・絵本、玩具

③ 給食用品購入予定

- ・食器
- ・包丁まな板

④ 固定資産物品購入予定

予定なし

(4) 災害対策

① 避難訓練

年間12回実施(保護者参加の引き渡し訓練を1回実施)

② 防災設備の点検委託

年間2回実施

③ 非常食糧の備蓄

(全児童+全職員数)×3食×3日分

消費期限点検(3月実施)

3. 保護者へむけて

保育への理解と協力の促進



① 保育参加

保育の体験を通して、集団の中での子どもの様子を知り、保育内容への理解を深めてもらう機会とする。

随時実施

② 保護者会（4月1回、11月・12月1回）（6月、1月～2月個別面談）

4月…1年間の運営の方針、保育計画、予定、子どもの育ちについて

6月…入園、進級し3ヶ月を過ぎた時点での家庭と保育園の情報交換

11月・12月…乳児・幼児3クラスずつ合同で行い、半年を経過しての子どもの様子および今後の見通しについて

1月～2月…就学・進級にむけての面談

③ 通信(お便り)

園だより(月に1回)…園全体や地域に関わる情報などを発信する。

ほけん便り(月に1回)…保健に関する情報を発信する。

給食だより(月に1回)…乳幼児期の食生活について園と家庭の架け橋となる内容を発信する。

一時保育だより(月に1回)…一時保育利用者に向けて園行事や育児情報を発信する。

(5月より再開)

4. 地域社会との連携

5歳児と近隣の認可保育園7園との交流

5歳児と学童クラブ、キッズクラブとの交流

幼児クラスと高齢者施設との交流

地域のイベントへの参加(マーチング、運河ルネッサンス協議会)

5. その他

第三者評価受審

社会福祉法人ひまわり福祉会 2021年度事業計画書

ひまわりキッズガーデン志村

はじめに

昨年度は“子どもの発達・成長”に目を向け、職員一人ひとりが“子どもにとって”という事を一番に考えられるチーム作りを目指して参りました。子ども達の発達や成長に合った保育を展開できるように、様々な会議の中で保育環境、保育者の関わり等を話し合い、その記録のとり方についても検討し、記録の内容に変化が見られました。コロナ禍の中で、例年通りに行なえない活動も、子どもに何を体験させたいかの目線で考え、叶えてあげたい事をチームで話し合い実践した1年でした。

2021年度は子どもの心情を捉えて保育する中で、職員が保育を楽しんでいる事ができるような仕組み作りを行ないたいと考えています。そして、自分が行動する時に、どのような目的で、いつまでに、何をどのように進めていくのかを明確にします。子どもの姿を保育プラットホームに当てはめたらどこに当たるのかを考えられる職員集団を目指し、子どもが遊びの中で自然と育ち、保護者からは、キッズガーデン志村に預けていれば大丈夫だと感じてもらえる保育園を目指します。また、複合施設「ここから」の保育園だからこそ出来る日常の高齢者と子どもたちの関わりを深めたいと考えておりますが、新型コロナウイルスの影響で、交流自体が難しくなっています。何か違った形で、子どもと高齢者とが繋がれる仕組みを準備したいと思っております。地域に住む方からは「あの園に入りたい」と思っただけのよう努めます。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
もも	0歳	2	6	
たんぼぼ	1歳	2	8	要支援児1名含む
ちゅうりっぷ	2歳	2	10	
すみれ	3歳	1	10	
ゆり	4歳	1	10	要支援児2名含む
ひまわり	5歳	1	10	

② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
25	23	26	25	25	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	24	24	23	22	26	

### ③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

#### i. 日常養護・健康管理

- ・ コドモンアプリにて個々の健康観察と管理
- ・ 看護師による日々の巡回と子どもの視診を定期的に行い健康状況の把握を行う

#### ii. 病気の予防と早期発見

- ・ 園の玄関にて電解水、アルコール溶剤を置き来訪者には必ず除菌、消毒を行ない、検温をしてから入室して頂く
- ・ 感染症が発症した際には掲示等で保護者に知らせ注意を促す。

#### iii. 安全と事故防止

- ・ 学校110番の設置。
- ・ 家具等は転倒防止具をつける。柱、角の部分には保護ガードをつける。
- ・ 事故防止マニュアルを作成し安全策を図る。
- ・ SIDSの防止(午睡時睡眠チェック 0歳児:5分間隔、1～2歳児:10分間隔、3～5歳児:15分間隔)
- ・ 監視モニターを設置し、午睡等の安全対策を強化する。

#### iv. 健康増進と保健指導

- ・ 保健便りを毎月発行し、健康情報や保健指導を行なう。

#### v. 環境衛生

- ・ 害虫駆除は年2回業者に委託。
- ・ 午睡用の布団は乾燥、丸洗いを定期的実施。
- ・ 園舎内、トイレ清掃については電解水を使用しマニュアルに沿って行なう。
- ・ 遊具、玩具の消毒については定期的に行い、0歳児用は1日2回以上行なう。
- ・ 感染症流行期には電解水を用いて室内の消毒を行なう。
- ・ 年に1回、トイレクリーニング・コーティングを実施。

### 年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	0歳児(月1回)、1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	
眼科健診	
視力検査	
歯科健診	全園児 (年2回)
尿検査	

## (2) 保育理念

身近な大人との愛着関係を基盤に「受容性」から「好奇心・探求心」へさらに「主体性」を持って成長する子を育みます。

## (3) 保育方針

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

## (4) 各年齢の保育目標

### ひまわり組(5歳児)

- ・ 一つの目的意識のもとに関係しあい、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し、達成感や喜びを味わう
- ・ 身体や栄養・病気などに関心を持ち、健康や安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に活動する
- ・ 体験したことや自分の思いを相手に分かるように筋道立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる
- ・ 運動や遊具・用具を使用した活動を通して、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整しようとする

### ゆり組(4歳児)

- ・ 十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする
- ・ できることに喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける・人の話に興味を持って聞いたり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう
- ・ 様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようになる

### すみれ組(3歳児)

- ・ 自己主張しながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする
- ・ 生活や遊びに期待や見通しを持ち、自分のことを自分でしようとする
- ・ 身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地よさを味わう
- ・ 生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する

#### ちゅうりっぷ組(2歳児)

- ・ 自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる
- ・ 大人に見守られながら意欲的に自分のことは自分でしようとする
- ・ 身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地よさを味わう
- ・ 生活や遊びの中で、体を動かすことを十分に楽しむ

#### たんぼぼ組(1歳児)

- ・ 保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む
- ・ 生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基礎となる力を育む

#### もも組(0歳児)

- ・ 安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む
- ・ 安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む

#### (5) 主な年間行事予定

月例行事	誕生日会、避難訓練、身体測定
4月	入園の集い
5月	保護者会
6月	個別面談
7月	七夕、一日特別保育、農業体験、お楽しみ会
8月	プール
9月	引き渡し避難訓練、自然体験、敬老お祝い会、保護者会
10月	運動会、さつまいも掘り
11月	個別面談、作品展
12月	おゆうぎ会、クリスマス会、もちつき会
1月	個別面談(5歳児)
2月	節分の会、保護者会、お楽しみ食堂、子どもシアター(5歳児)
3月	ひなまつりの会、お別れ遠足、5歳児保護者会、お別れ会、卒園式

#### (6) 食事

##### i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食経験を通して、自らの健康を育める子ども」

食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体作りをすると共に、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

献立会議に参加すること、及び栄養摂取量表で確認する。

iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していくことを期待するものです。そのために乳幼児期には職域を広げ、子どもの達の食への興味を引き出すことを食育の目的とし毎日食育をベースに、企画する食育活動を加えて展開します。食育会議を毎月開催。

iv. 衛生管理

日々日常点検表と業務完了届けを通して実施状況を確認

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	475	17.8	15.8	213	2.3	188	0.25	0.28	20
3歳以上児	520	19.5	17.3	230	2.2	190	0.28	0.32	20

vi. その他

離乳食 初期食 2名 中期食 1名 後期食 3名  
アレルギー児対応 2名

(7) 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

交通安全教育 (4月)

非常災害時の避難訓練 (月1回)

引き渡し訓練 (9月1日)

(8) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
副園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	8名	
調理員(栄養士含)	2名	(業務委託)
看護師	1名	(非常勤)
用務員	0名	
嘱託医	1名	(非常勤)
非正規職員	9名	

② 健康管理

健康診断 年1回

細菌検査 年12回

\*給食担当は 24回

③ 職員会議

職員会議 12回

ここから会議 12回

乳児会議 12回 幼児会議12回

④ 研修計画

事業部研修への参加・・・全員が同じ研修に参加することで学びを共有する

職員個別に研修計画を策定(年間でつきたい力)

行政主催の研修参加(年間計画に基づき個々に必要なスキルを身につける)

保育団体主催の研修への参加

法人、事業部主催の研修への参加

園内研修

2. 施設管理

(1) 事務関係

① 会計事務、管理事務

- ・ 施設における現金の管理は経理規定に従って行なう。
- ・ 現金収支は小口現金出納帳をもとに管理を行なう。

- ・ 児童処遇事務(保育、給食、保健)
- ・ 毎月の収支は資金収支予算実績報告をもとに管理を行なう
- ・ 延長保育料金等については毎月末締めとし翌月初めに請求書を発行し徴収、領収書を発行し管理を行なう。
- ・ 給食に関しては委託業者との契約を行い毎月の支払いとする。
- ・ 嘱託医への支払いは契約書をもとに行なう。

(2) 設備関係

- ① 固定遊具の設備点検  
固定遊具特になし  
施設整備点検・毎月実施
- ② 施設整備計画

(3) 備品関係

- ① 備品購入予定  
特になし
- ② 保育用品購入予定  
絵本、玩具、運動用品、保育材料等
- ③ 給食用品購入予定  
食具、調理器具等
- ④ 固定資産物品購入予定  
特になし

(4) 災害対策

- ① 避難訓練  
年間 12回実施 (年2回 建物全体 合同訓練実施)
- ② 防災設備の点検委託  
年間 2回実施 (9月、3月)
- ③ 非常食糧の備蓄  
(全児童+全職員数)×3食×3日分  
備蓄品の点検と追加購入  
消費期限点検(4月・9月実施)



### 3. 保護者へむけて

保育への理解と協力の促進

#### ① 一日保育士体験

子ども達が園でどのような生活を送っているのか、またクラス全体の様子なども知ってもらう  
開催2週間前から、クラス前に掲示し、記名してもらう。

年2回(5・11月)、期間を設けているが、基本的には随時。

#### ② 保護者会

保護者懇談会(年3回程度実施)・・・園の保育の理解、子どもの姿、発達を知る。

個別面談の実施(年2回程度)・・・園での子どもの様子、家庭での様子、子育て観の共有  
給食試食会・・・ひまわりの食に対する思いや給食へのこだわりを伝える場とする。

#### ③ 通信(お便り)

毎月1日に園便り・各クラスお便り・ほけん便り、月1回給食便り、その他行事毎に発行。

### 4. 地域社会との連携 (新型コロナウイルスの感染状況による)

(ア) 町会への加入

(イ) 小学校との連携 (年2回)

(ウ) 小学校の先生をお招きしての育児講座

(エ) 就学を控えた5歳児の学校訪問、交流会への参加

(オ) 地区別実務者会議(虐待防止分科会)への参加

### 5. その他

- ・ 第三者評価受審予定

社会福祉法人ひまわり福祉会 2021年度事業計画書

ひまわりキッズガーデン有明

はじめに

昨年度に続き、園長・主任が変更となり、保護者をはじめ職員も不安を抱えて迎える新年度と想像しております。まずは、保育園の当たり前である「安心・安全な保育の実施」を基に信頼関係を再構築する事に尽力します。合わせて、リーダーが変わっても、ひまわりの保育の理念が変わるわけではないので、今まで培ってきた有明の保育と、コロナ禍において考えていかなければならないこれからの保育をチーム一丸となって考え取り組めるよう進めて参ります。その為にもまずは改めて、チームの土台となるマニュアルを整えることから始めます。考え方や根拠に基づくマニュアルを整える事で、“やり方”ではなく“考え方”の定着を図り、組織価値観の構築と統一を進めます。

また、今年度より0歳児保育の廃止、1歳児をはじめ各年齢の定員増加という環境の変化があります。“今まで”ではなく“これから”を合言葉に、より良い保育を提供する為に保育力向上・保育の質の向上に取り組み、「ひまわりの保育」を考え実践する組織となるよう邁進して参ります。

(1) 施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成(2021年3月8日現在)

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
ほし組	1歳	4名	20名	
そら組	2歳	4名	21名	空き3名
なみ組	3歳	3名	25名	空き1名 要支援児2名
にじ組	4歳	1名	24名	空き2名
ひかり組	5歳	1名	25名	空き1名

② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
25	23	26	25	25	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	24	24	23	22	26	

③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- i. 日常養護・健康管理
  - ・ 登園時の視診、健康観察による子どもの体調を把握する。
  - ・ 午睡後の検温、看護師による巡回での子どもの体調変化を把握する。
  - ・ 子どもの様子を共有する職員間の引継ぎを行う。
- ii. 病気の予防と早期発見
  - ・ 職員、子どもの手洗い、うがいの励行と健康指導を行う。
  - ・ 予防接種の呼びかけを行い、事前に感染拡大を防止する。
  - ・ 感染症発生時は、掲示等による保護者への迅速な周知と感染拡大を防止する。
  - ・ 玄関での手指消毒を実施する。(大人用アルコール、子ども用電解水の設置)
- iii. 安全と事故防止
  - ・ 学校110番を設置する。
  - ・ 玄関ドアの常時施錠し、来訪者はモニター確認後に解錠し自動施錠する。
  - ・ 家具転倒防止器具を設置する。
  - ・ 津波避難対策としてのマンション上層階への避難経路確保と訓練を行う。
  - ・ 乳幼児突然死症候群(SIDS)防止策を遵守する。(睡眠表による睡眠チェックを行う)  
1～2歳児 10分おき、3～5歳児 15分おきに個別確認
- iv. 健康増進と保健指導
  - ・ 各種お便りによる、健康増進につながる情報を発信する。
  - ・ 年間保健計画に基づく看護師による保健指導を行う。  
(手洗い・うがい、歯磨き指導、咳エチケット)
- v. 環境衛生
  - ・ 毎日保育室や玩具を安全な電解水(アルカリ水・酸性水)で清掃と消毒を行う。
  - ・ タオル等の共有をせず、使い捨てペーパータオルを使用する。
  - ・ 害虫駆除(年2回)
  - ・ 毎年、専門業者によるトイレクリーニングを実施する。
  - ・ エアコンクリーニングを実施する。

年間保健行事

保健行事	対 象 年 齢
内科健診	1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	実施なし
眼科健診	実施なし
視力検査	4歳児・5歳児(看護師による簡易検査を年2回)
歯科健診	全園児(年2回)
尿検査	実施なし

(2) 保育理念

身近な大人との愛着関係を基盤に「受容性」から「好奇心・探求心」へさらに「主体性」をもって成長する子を育みます。

(3) 保育方針

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身につけます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「観る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

(4) 各組の保育目標

**ひかり組(5歳児)**

- ・ 一つの目的意識のもとに関係しあい、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し、達成感や喜びを味わう。
- ・ 身体や栄養・病気などに関心を持ち、健康や安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に活動する。
- ・ 体験したことや自分の思いを相手に分かるように筋道立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる。
- ・ 運動や遊具・用具を使用した活動を通して、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整しようとする。

**にじ組(4歳児)**

- ・ 十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする。
- ・ できることに喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける。
- ・ 人の話に興味を持って聞いたり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう。
- ・ 様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようになる。

**なみ組(3歳児)**

- ・ 自己主張しながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする。
- ・ 生活や遊びに期待や見通しを持ち、自分のことを自分でしようとする。
- ・ 身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地よさを味わう。
- ・ 生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する。

#### そら組(2歳児)

- ・ 自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる。
- ・ 大人に見守られながら意欲的に自分のことを自分でしようとする。
- ・ 身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地よさを味わう。
- ・ 生活や遊びの中で、身体を動かすことを十分に楽しむ。

#### ほし組(1歳児)

- ・ 保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む。
- ・ 生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基礎となる力を育む。

#### (5) 主な年間行事予定

月例行事	誕生日会、身体測定、避難消火訓練
4月	入園式、保護者会、個別面談
5月	こどもの日、
6月	防災引き渡し訓練、個別面談、乳児触れ合いデー
7月	七夕、一日特別保育(5歳児)
8月	プール・水遊び
9月	親子稲刈り遠足(4、5歳児)、敬老お祝い会、保護者会
10月	芋ほり遠足(幼児)、運動会
11月	個別面談(1歳児～4歳児)
12月	お遊戯会、クリスマス、もちつき(鏡餅作り)
1月	個別面談(5歳児・希望者)
2月	節分、遠足(5歳児)
3月	ひなまつり、体操発表会(幼児)、お別れ会、卒園式

※運動会…9～11月予定(小学校との協議により時期を決定)

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により行事の中止や開催方法の変更がある。

#### (6) 食事

##### i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食体験を通して、自らの健康を育める子ども」

食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体作りをすると共に、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

##### ii. 栄養管理

献立会議への参加、及び栄養摂取管理表での確認を行います。

### iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べる事を楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していく事を期待するものです。

そのために乳幼児期には食域を広げ、子ども達の食への興味を引き出す事を食育の目的とし、毎日食育をベースに企画する食育活動を加えて展開します。

### iv. 衛生管理

日々、日常点検表と業務完了届を通して実施状況を確認します。

### v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	475	17.8	15.8	213	2.3	188	0.25	0.28	20
3歳以上児	520	19.5	17.3	230	2.2	190	0.28	0.32	20

### vi. その他

アレルギー対応(2名)

## (7) 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

非常災害時の避難訓練 (毎月1回)

引き渡し訓練 (6月)

交通安全教育(年1回) 日付は未定

## (8) 職員の処遇

### ① 職員構成

園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	11名	
調理員(栄養士含)	4名	給食業務委託
看護師	1名	
用務員	0名	
嘱託医	2名	非常勤
パートタイマー職員	2名	常勤
	8名	非常勤 内有資格者2名

② 健康管理

健康診断 年1回(7～3月に実施)

細菌検査 年12回

\*給食担当 年24回

③ 職員会議

乳児会議(年12回)

幼児会議(年12回)

職員会議(年12回)

④ 研修計画

職員個別に研修計画を策定

行政や保育団体主催の研修に参加

法人、事業部等主催の研修に参加

園内研修

2. 施設管理

(1) 事務関係

① 会計事務、管理事務

- ・施設における現金の管理は経理規程に従って行なう。
- ・現金収支は小口現金出納帳をもとに管理する。

② 児童処遇事務(保育、給食、保健)

- ・毎月の収支は資金収支予算実績報告をもとに管理する。
- ・延長保育利用料金等については月末締め、翌月はじめに請求書を発行し、保育業務管理ソフト「コドモン」に登録された口座より自動引き落とし。
- ・給食に関しては委託業者との契約を行い毎月の支払いとします。
- ・嘱託医への支払いは契約書をもとに行います。

(2) 設備関係

① 固定遊具の設備点検

固定遊具特になし

② 修繕予定

保育室扉・畳修繕

(3) 備品関係

- ① 備品購入予定  
特になし
- ② 保育用品購入予定  
絵本、玩具、運動用品、保育材料等
- ③ 給食用品購入予定  
食具、調理器具等
- ④ 固定資産物品購入予定  
特になし

(4) 災害対策

- ① 避難訓練  
年間12回実施(保護者参加の引き渡し訓練1回実施)
- ② 防災設備の点検委託  
年間2回実施
- ③ 非常食糧の備蓄  
(全児童+全職員数)×3食×3日分+α(全児童+全職員数) 消費期限点検(5月実施)

3. 保護者へむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

- ① 保育参加(随時)  
保育の体験を通して、集団の中での子どもの様子を知り、保育内容への理解を深めてもらう機会とする。
- ② 保護者会(4月・9月) 個別面談(6月・11月、希望者のみ1月)  
4月…1年間の保育計画、予定、子どもの育ちについて  
6月…新年度がスタートし、3ヶ月過ぎた時点での子どもの様子など  
9月…クラスずつ合同で行い半年を経過しての子どもの様子、および今後の見通し等  
11月…約半年を過ぎた子どもの様子など  
1月…進級や小学校就学に向けての面談
- ③ 通信(お便り)  
園だより(月1回)…園全体や地域に関わる情報などを発信します。  
クラスだより(月1回)…学年毎の発達、育児情報、お知らせ、お願いなどを発信する。  
保健だより(月1回)…保健に関する情報を発信する。  
給食だより(月1回)…乳幼児期の食生活について園と家庭の架け橋となる内容を発信する。



4. 地域社会との連携

5歳児と高齢者との交流

姉妹園との交流会

地域のイベントへの参加

5. その他

・ 第三者評価の実施予定

利用者アンケートに実施・職員アンケートの実施

組織マネジメント、保育サービス、特に力を入れた取り組みについて園運営に関する

全体評価を受ける

社会福祉法人ひまわり福祉会 2021年度事業計画書

ひまわりキッズガーデン有明の森

はじめに

2021年度は新規採用職員2名、異動者1名を加えてのスタートになります。主任保育士が着任し、職員の入れ替えもあることから新たなチームとしてのチーム作りが重要になってきます。若い職員も多いので、皆が同じ考え(根拠)のもとで自ら主体的に行動ができるように取り組みを進めていく予定です。

今年はオリンピックの開催も予定されている有明エリアですが、新築マンションの建設が進むとともに特色を持った保育園の開設も増加しております。新たな顧客を獲得していくためにもひまわりの保育の良さを認識して頂けるよう、ひまわりの保育を職員が理解し、有明の森の特性や日本文化を活かした保育を実践し保護者へ発信していくことが課題になってきています。そのために、まずはリーダー層が中心となって、ひまわりの保育の理解を深め、子どもの観察を丁寧に行っていくことで保育の楽しさを伝えていきながら人材育成に力を注いでいきたいと思っております。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備
つき組	0歳	2名	6名	
ほし組	1歳	3名	15名	
そら組	2歳	4名	19名	空き5名
なみ組	3歳	2名	22名	空き2名
にじ組	4歳	1名	24名	
ひかり組	5歳	1名	24名	

② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
25日	23日	26日	25日	25日	24日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26日	24日	24日	23日	22日	26日	

### ③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

#### i. 日常養護・健康管理

- ・ 朝の視診、登降園管理システムコードモンや連絡帳を通して保護者からの情報をもとに子どもの状態を観察
- ・ 登園時0歳児は園内で検温し、その日の健康状態を保護者と保育士双方で確認しお預かりする。
- ・ 0歳児は月2回、満1歳以上は月1回の身体測定を行い子どもの発育及び発達状態を定期的に把握していく。

#### ii. 病気の予防と早期発見

- ・ 保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態に応じて早期に保護者に連絡を行う。
- ・ 感染症が予想される時期に、お便りや掲示、アルコール消毒や電解水の利用等で発生予防に努め、必要に応じて、保健所等に連絡し、その指示に従うと共に保護者や全職員に連絡し協力を求めていく。

#### iii. 安全と事故防止

- ・ 保育所内外の安全点検に努め、安全対策の為に職員の体制づくりを行い、家庭や地域の諸機関の協力の下に安全指導を行う。
- ・ 学校110番の設置
- ・ 津波避難対策として上層階への避難経路確保
- ・ 玄関は防犯上、常に施錠
- ・ 防犯カメラの設置

#### iv. 健康増進と保健指導

- ・ 子どもの健康に関する年間の保健計画を作成し、全職員がそのねらいを理解しながら子どもの健康の保持に努めていく。
- ・ 定期的に健康診断を行いその結果を保護者に連絡。保護者が子供の状態を理解し、日常生活に活用できるようにする。

#### v. 環境衛生

- ・ 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持すると共に施設内外の設備及び用具等電解水または消毒液を利用して清掃し(0歳児クラスは毎日、その他必要に応じて)衛生管理に努める。
- ・ 手洗い後はペーパータオルを使用
- ・ 事務所前にオゾン脱臭機、各部屋に空気清浄機を設置
- ・ 害虫駆除(年間2回)

## 年間保健行事

保健行事	対 象 年 齢
内科健診	0歳児(月1回)、1歳児以上(年2回)
耳鼻科健診	内科健診に含む
眼科健診	内科健診に含む
視力検査	4, 5歳児(看護師による簡易検査を年2回)
歯科健診	全園児(年2回)
尿検査	なし

### (2) 保育理念

身近な大人との愛着関係を基盤に「受容性」から「好奇心・探求心」へさらに「主体性」をもって成長する子を育みます。

### (3) 保育方針

保育園に集うたくさんの親や子どもが、小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一人員として様々な人々と共に暮らす知恵と力を身に付けます。そのためにひまわりの保育園では「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場をつくります。

### (4) 各組の保育目標

- ひかり組(5歳児)
- ・一つの目的意識のもとに関係しあい、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し、達成感や喜びを味わう
  - ・身体や栄養・病気などに関心を持ち、健康や安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に活動する
  - ・体験したことや自分の思いを相手に分かるように筋道立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる
  - ・運動や遊具・用具を使用した活動を通して、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整しようとする
- にじ組(4歳児)
- ・十分に自己を発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする
  - ・できることに喜びを感じながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける
  - ・人の話に興味を持って聞いたり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう
  - ・様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようになる

- なみ組(3歳児) ・自己主張しながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする
- ・生活や遊びに期待や見通しを持ち、自分のことを自分でしようとする
  - ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地よさを味わう
  - ・生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に活動する
- そら組(2歳児) ・自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる
- ・大人に見守られながら意欲的に自分のことを自分でしようとする
  - ・身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地よさを味わう
  - ・生活や遊びの中で、体を動かすことを十分に楽しむ
- ほし組(1歳児) ・保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む
- ・生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基礎となる力を育む
- つき組(0歳児) ・安定した生活リズムと身近な大人との信頼関係をもとに、人との関わりを喜び、心身の健やかな成長を育む
- ・安心できる環境の中で、五感を使った体験を通し、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む

(5) 主な年間行事予定

月例行事	誕生日会、避難訓練
4月	入園式、保護者会、田植え遠足(4, 5歳児)
5月	端午の節句を祝う会
6月	個人面談、プール開き、親子ふれあいデー(乳児)
7月	七夕の集い、1日特別保育(5歳児)
8月	プール
9月	親子稲刈り遠足(4, 5歳児)、敬老お祝い会、運動会(幼児)
10月	芋掘り(3, 4, 5歳児)、
11月	保護者会、乳児生活発表会
12月	幼児生活発表会、もちつき
1月	個人面談(5歳児)、かるたとり大会(5歳児)
2月	節分、お店屋さんごっこ、個人面談
3月	ひなまつり会、お別れ遠足(5歳児)、お別れ会、卒園式、おもてなし会

(6) 食事

i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食経験をを通して、自らの健康を育める子ども」  
食は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期にもっとも大切な栄養を豊かに摂取し、健康な身体づくりをすると共に、食習慣を促し、生きる力の基礎を培う。

ii. 栄養管理

食育会議への参加

iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食にかかわる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していくことを期待するものです。そのために、乳幼児期には食域を広げ、子ども達の食への興味を引き出すことを食育の目的とし、「毎日食育」をベースに、企画する食育活動を加えて展開します。

iv. 衛生管理

日々日常点検表と業務完了届を通して実施状況を確認する。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	500	19.0	16.5	210	2.3	125	0.20	0.28	20
3歳以上児	550	21.0	18	280	2.6	160	0.30	0.4	17

vi. その他

離乳食(初期食2名、中期食1名、後期食5名)アレルギー食(卵2名、小麦1名、葡萄1名)

(7) 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

交通安全教育 (9月1日)

非常災害時の避難訓練 (月12回)

引き渡し訓練 (5月)

(8) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	15名	
調理員(栄養士含)	3名	給食業務委託
看護師	1名	
事務	1名	
嘱託医	1名	(非常勤)
非正規職員	5名	

② 健康管理

健康診断 年1回(9月)

細菌検査 年12回

\* 給食は月2回、0歳児調乳担当は年12回(調乳チェック表をつけています。)

③ 職員会議

職員会議年間12回

標準化会議年間24回(月2回)

幼児会議 年間12回

乳児会議 年間12回

④ 研修計画

職員個別に研修計画を策定

行政主催の研修参加

保育団体主催の研修に参加

法人、事業部等主催の研修への参加

園内研修

2. 施設管理

(1) 事務関係

① 会計事務、管理事務

園での小口現金は経理規定に沿って管理を行う

利用者徴収の延長保育料は月末締め翌月初めに請求書を発行し徴収。

② 児童処遇事務(保育、給食、保健)

毎月の収支は資金収支予算実績報告をもとに管理を行う。

延長保育料金等については毎月末締めとし翌月初めに請求書を発行し徴収、領収書を発行し管理を行う。

給食に関しては委託業者との契約を行い毎月の支払いとする。

## (2) 設備関係

### ① 固定遊具の設備点検

園内設置ののぼり棒とアスレチックは、月1回園内の設備点検と共におこなう。

## (3) 備品関係

### ① 備品購入予定

記録用カメラ、幼児クラステーブル

### ② 保育用品購入予定

乳児、幼児クラス玩具

### ③ 給食用品購入予定

食器類、調理器具等

### ④ 固定資産物品購入予定

特になし

## (4) 災害対策

### ① 避難訓練

月に1回実施、消火訓練も併せて行う。

### ② 防災設備の点検委託

年間2回(7月、1月)

### ③ 非常食糧の備蓄

(全児童+全職員数)×3食×3日分

消費期限点検(3月、9月実施)

## 3. 保護者へむけて

### (1) 保育への理解と協力の促進

#### ① 保育参加

登園から降園までの我が子の様子や他の子どもとのかかわり、保育士とのかかわり等を見ていただき、問題点の共有を行うほか、ひまわりの保育への理解や連携、育児相談を行う為。

開催時期は通年、クラスによって年間の予定表を配布

#### ② 保護者会

4月 各クラスの保育内容、年間目標、行事日程等について

11月 子ども達の成長の姿、子どものトラブルについて



③ 通信(お便り)

園便り(月1回)

子ども達の様子や育児情報など、保護者が知りたい内容について発信する。

ほけん便り(月1回)

子ども達の生活に関する情報を記載。園全体の感染症予防を啓蒙。

給食便り(月1回)

ひまわりの食に関する考え方を掲載。

4. 地域社会との連携

東雲のデイサービスセンターに年間8回訪問し交流を深めていく。

育児講座、保育所体験など園の保育への参加を呼びかけていく。

5. その他

第三者評価受審

社会福祉法人ひまわり福祉会2021年度事業計画書

ひまわりキッズガーデン城山

はじめに

2020年度は、「子どもが自ら育とうとする力を発揮できるように、職員一人ひとりが専門知識を向上し、保護者とともに子どもの育ちについて語り合える関係を築く」ことをあるべき姿に掲げ、職員各人の感覚で保育をするのではなく、子どもの育ち・環境設定・保育者の配慮を職員全員が同じ視点で振り返りができるよう評価視点を定めるため、園内研修や観察シートを利用しながら子どもの行動の裏側にある心情を捉えた記録をするように関わってきました。その結果、日誌やお便りの内容にも変化が現れ、職員の中にも大人の関わりや配慮を意識するようになり、園で取り組んでいる環境構成や関わり方を保護者に伝えたいと思うようになってきています。しかし、職員が子どもの心情を読み取れるようになったことで声を掛けすぎでしまっている現状が見えてきました。2021年度は子どもたちが困ったり考えたりする経験し危機意識や主体性を育めるような遊びとなるような環境を作るため、職員が主体的に物事に取り組めるような状態を目指していきます。

2021年度は開園したときからの園長が転勤となったことや、コロナ禍における保護者への情報発信や信頼関係の構築、地域との関わり方の工夫が求められていると思います。職員一丸で子ども支援、保護者支援、地域の子育て支援に取り組んでいきたいと思っています。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

① クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
あんず	1歳	3	12	
かりん	2歳	2	12	
ぶどう	3歳	1	12	
りんご	4歳	1	11	空き1名
さくら	5歳	1	12	要支援児1名含む

② 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
25	23	26	25	25	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	24	24	23	22	26	

### ③ 健康管理

子ども一人ひとりの発育・発達の個人差を考慮しながら、健康な生活習慣を身につけ、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

#### i. 日常養護・健康管理

- ・毎日(登園時・午睡前後)、園児の体調を把握。午睡明けは検温を行う
- ・コドモンアプリにて個々の健康観察と管理

#### ii. 病気の予防と早期発見

- ・予防接種の呼びかけを行い、事前に感染症拡大を防止する
- ・園の玄関にて電解水、アルコールを置き、来訪者には除菌、消毒を行い、検温した後に入室をして頂く。

#### iii. 安全と事故防止

- ・施設内外部点検(月1回)
- ・保育環境の整備(柵や壁などの角に安全ガード、クッションなどを設置)
- ・ヒヤリハット、メッセージグレードを全職員が把握。分析を行い再発防止に努める
- ・SIDSの防止(午睡時睡眠チェック 1～2歳児…10分間隔、3～5歳児…15分間隔)
- ・監視モニターを設置し、午睡等の安全対策を強化する

#### iv. 健康増進と保健指導

- ・保健便りを毎月発行し、健康情報や保健指導を行なう。

#### v. 環境衛生

- ・毎日保育室や玩具の清掃、消毒を行う
- ・トイレクリーニングの実施
- ・エアコンクリーニングの実施

### 年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	年2回(全園児)
耳鼻科健診	
眼科健診	
視力検査	
歯科健診	年2回(全園児)
尿検査	

(2) 保育理念

身近な大人との愛着関係を基盤に「受容性」から「好奇心・探求心」へさらに「主体性」を持って成長する子を育みます。

(3) 保育方針

保育園に集うたくさんの親や子どもが 小さな社会体験と生活体験を重ねながら、地域の一員として様々な人々と暮らす知恵と力を身に付けます。そのためにひまわりの保育園は「出会う」「見る」「聴く」「触る」「体験する」「語り合う」「認め合う」場を作ります

(4) 各組の保育目標

**さくら組(5歳児)**

- \*一つの目的意識のもとに関係し合い、事態や場面に応じて相手の立場に立って相手を理解し、解決しようとする。互いの違いや良さを認め合いながら、目的に向かって協力し達成感や喜びを味わう
- \*身体や栄養、病気に関心を持ち、健康や安全などの生活に必要な基本的習慣や態度を身につけ、見通しを持って主体的に行動する
- \*体験したことや十分の重いを相手に分かるように道筋を立てて話す。状況に応じて声の大きさや話し方など、相手に合わせて話せるようになる
- \*運動や遊具・用具を使用した活動を通し、自己の身体像を確立し、自分の身体の隅々までコントロールするようになる。相手の動きに合わせて、少しずつ動きを予測しながら自分の動きを調整しようとする。

**りんご組(4歳児)**

- \*十分に自己発揮しながら、相手の思いを受け入れ、自分の気持ちを調整しようとする
- \*できることを喜びながら、健康・安全など、生活に必要な習慣を身につける
- \*人の話に興味を持って聞いたり、自分の体験したことや思っていることを話し、言葉で伝える楽しさを味わう
- \*様々な遊びを通して全身を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わう。課題に合わせて意識して身体を動かすようにする

**ぶどう組(3歳児)**

- \*自己主張しながらも、自分以外の人の気持ちにも気づいたり、相手の気持ちを受け入れようとする。
- \*生活や遊びの中に期待や見通しを持ち、自分のことは自分でしようとする。
- \*身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を交わす心地良さを味わう
- \*生活や遊びの中で、全身を使って意欲的に遊ぶ

**かりん組(2歳児)**

- \*自己主張を十分に受け止めてもらい、安定して過ごす中で、自分でできた喜びを感じる

- \* 大人に見守られながら意欲的に自分のことは自分でしようとする。
- \* 身近な大人や友達集団とともに体験を共有しながら、言葉を表出する心地良さを味わう
- \* 生活や遊びの中で、身体を動かすことを十分に楽しむ

#### あんず組(1歳児)

- \* 保育者との信頼関係の中で、心の安定を基盤とし、自我の芽生えを育む。
- \* 生活や遊びの中で五感を使い、心身の健やかな発達と、生活の基盤となる力を育む。

#### (5) 主な年間行事予定

月例行事	避難訓練・身体測定・世代間交流
4月	入園進級お祝い会
5月	こどもの日の集い・田植え遠足・給食試食会・保護者会
6月	個別面談・保育参加月間(幼児)
7月	七夕・一日特別保育・水遊び・保育参加月間(乳児)
8月	水遊び
9月	引き渡し訓練・自然体験・地域祖父母交流会・保護者会
10月	運動会・さつまいも掘り
11月	個別面談(1～4歳児)・保育参加月間(乳児)
12月	個別面談(5歳児)クリスマス・もちつき・保育参加月間(幼児)
1月	お遊戯会
2月	節分・保護者会・保育参加月間(全園児)
3月	ひなまつり・お別れ遠足・お別れ会・卒園式

#### (6) 食事

##### i. 目標

「丈夫な体・豊かな心を育む食生活を通して、自ら健康を育める子ども」

「食」は人間形成であり、人格形成である。乳幼児期に最も大切な栄養を摂取し健康な身体づくりをするとともに、食習慣の獲得と促し、生きる力の基礎を培う

##### ii. 栄養管理

献立会議に参加、及び栄養摂取量表で確認をする

##### iii. 食育

食育は、毎日の生活と遊びの中で、自らの意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみにしあう子どもが成長していくことを期待するもの。

そのために乳幼児期には食域を広げ、子ども達への興味を引き出すことを食育の目的とし、毎日食育をベースに企画する食育活動を加えて展開する。

iv. 衛生管理

日々、日常点検表と業務完了届けを通して、実施状況を確認する。

v. 栄養給与目標(給食・おやつで摂りたい栄養量の目安)

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン			
						A μg	B1 mg	B2 mg	C mg
3歳未満児	475	17.8	15.8	213	2.3	188	0.25	0.28	20
3歳以上児	520	19.5	17.3	230	2.2	190	0.28	0.32	20

vi. その他

アレルギー食対応児; 2歳児 1名(鶏卵、乳製品)

(7) 安全管理

交通安全や避難訓練について記述し、訓練日を記載します。

交通安全教育 (年2回)

非常災害時の避難訓練 (月1回)

引き渡し訓練 (9月1日)

(8) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名	
主任保育士	1名	
保育士	9名	内 常勤パート1名 非常勤1名
調理員(栄養士含)	2名	業務委託
看護師	1名	(常勤パート)
事務員	1名	有資格
嘱託医	1名	(非常勤)
非正規職員	7名	内資格者2名

- ② 健康管理
  - 健康診断 年1回(7～10月)
  - 細菌検査 年12回
  - \*給食担当は、年24回
- ③ 職員会議
  - 職員会議 年12回
  - 乳幼児会議 年12回、クラス会議 年12回
  - 標準化会議 週1回
- ④ 研修計画
  - 保育の資質向上を目指す園内研修
  - 職員個別に研修計画を策定
  - 行政や保育団体の研修に参加
  - 法人内研修、事業部等主催の研修に参加

## 2. 施設管理

- (1) 事務関係
  - ① 会計事務、管理事務
  - ② 児童処遇事務(保育、給食、保健)
  
- (2) 設備関係
  - ① 固定遊具の設備点検
    - 固定遊具なし
  
- (3) 備品関係
  - ① 備品購入予定
    - 給食室棚、玩具棚、保育室パーテーション
  - ② 保育用品購入予定
    - 運動用品・玩具・絵本・紙芝居・
  - ③ 給食用品購入予定
    - 食器類・調理器具
  - ④ 固定資産物品購入予定
    - 給食室内冷蔵庫、冷凍庫(リース調達の可能性もあり)
    - 保育用テーブル

(4) 災害対策

① 避難訓練

年12回実施（地震または火災を想定）  
引渡し訓練実施(9月)

② 防災設備の点検委託

年2回実施(9月・3月)

③ 非常食糧の備蓄

(全児童+全職員数)×3食×3日分  
消費期限点検(概ね4月・9月実施)

3. 保護者へむけて

保育への理解と協力の促進

① 保育参加

目的; 子ども達の生活や遊びを保護者に伝える機会として、実際に保育に入ってもらいながら保育・子育てへの理解を得る

実施時期; 随時実施。また、6月・7月・11月・12月・2月は保育参加月間として設定している

② 誕生会への参加

目的; 子どもの誕生日当日または近い日に、その児だけの誕生会を行なう。

保護者には保育参加に来てもらい、子どもの成長を実感してもらおう。

また、生まれた日などのエピソードや子どもへの感謝等を伝える日にしていただく

② 保護者会

- ・ 保護者会(5月・9月・2月)

5月の保護者会は保育理念・保育方針・保育目標をもとに、園の価値観を伝える場とする。

また、時期に合わせて子どもの成長に伴って表出する姿や発達段階等を分かりやすく伝え、子育ての協同意識を高めてもらう。

え、子育ての協同意識を高めてもらう。

- ・ 給食試食会(年1回)…ひまわりの「食」に対する思いや食事へのこだわりを伝える

④ 通信(お便り)

園だより・クラスだより・保健だより・給食だより・・・月1回発行

その他(行事のお知らせなど)・・・必要に応じて発行



⑤ 第三者評価の実施

利用者アンケートに実施・職員アンケートの実施

組織マネジメント、保育サービス、特に力を入れた取り組みについて園運営に関する  
全体評価を受ける

4. 地域社会との連携

- ・ 町内会加入
- ・ 近隣との交流
- ・ 小学校の学校公開や交流会の参加
- ・ 地区別実務者会議(虐待防止分科会)への参加

5. その他

特になし